

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org

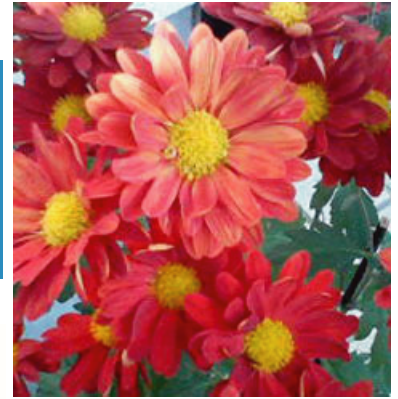
会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1787回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 森下 敏顯君



2008-2009年度 RIテーマ
夢をかたちに
李 東建



菊の花

写真提供：事務局

会長報告

青島 克郎君

藤枝南クラブの創立に当たり移籍された元当クラブ会員石川清さんの奥様がお逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。葬儀当日都合が付かず列席できませんでしたので昨日お宅にお伺いして参りました。石川さんはお元気な様子でこれからは好きなことをやって楽しみたいとのことでホットいたしました。

本日は航空自衛隊静浜基地指令の浮須様において頂いております。私がまだ小学生か中学生の頃、既に他界されていますが静浜基地の指令だった和田さんという方が家の離れに住んでおりました。何度か飛行場に連れて行ってもらい当時の練習機だったT6テキサンの操縦席に乗せてもらいました。勿論空を飛んだわけではありませんがものすごく興奮した記憶があります。和田さんと一緒に歩いているとすれ違う隊員が皆最敬礼するのでなんだか自分が偉くなったようでとても気分が良かったのを覚えています。

子供の頃見たノースアメリカンT6テキサンのオレンジ色の機体は今でも目に焼き付いております。これは1935年から生産され、米軍から供与され、静浜基地に昭和45年頃まで配備されましたが、その後ビーチクラフト社のライセンスで富士重工が製造したT-34メンターに替わりさらにそれを改良したT-3へと移ってゆきました。ここまでの飛行機はレシプロエンジンを搭載したのですが平成17年にはターボプロップエンジンを搭載した静かなT-7に替わり現在に至っています。プロペラの初等訓練を終了後、他基地

での中等ジェット練習機T-4の訓練そしてF-15等のジェット戦闘機の訓練に移っていくようです。勿論すべてが戦闘機のパイロットになるわけではありませんので大型輸送機など色々な分野での訓練を積み各所に配属されるのだと思います。

1903年の動力機初飛行からわずか100年余りで今のような高性能な航空機に発達した姿をライト兄弟が見たら本当に驚くことでしょう。地元に静浜基地があり、静岡空港も開港間近です。航空機に縁の深い地域として暖かい声援を送りたいと思います。

幹事報告

仲田 廣志君

- ガバナー事務所より地区大会における決議文が届いております。地区大会参加者は事前にお読み下さい。又、大会昼食の件でお願いが地区大会実行委員会より届いております。
- ガバナー月信11月号No5が届いております。
- 島田ロータリークラブより週報が届いております。
- 榛南ロータリークラブより週報が届いております。
- 藤枝市民ゴルフ大会実行委員会より御礼状が届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信No52が届いております。

出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
26/36 72.22%	25/36 69.44%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○石垣君 ○小西君 ○平君 飯塚君 板倉君
鈴木舜君 仲田晃君 水野君 望月志君 柳原君

(2)メイクアップ者

平 和則君(焼津南) 杉山 静一君(焼津南)
北村 幸男君(焼津南)

■ ビジター

村松 章隆君(藤枝南)

■ スマイルBOX

- 昨日で結婚30年となりました。年を追う毎、調教されていくような気がします。従順なポチを目指します。 北村 幸男君
- 先週のつたない卓話、騒がずご静聴ありがとうございます。 森下 敏顯君
- 藤枝めぐみを宜しく申し上げます。本日の静岡新聞に掲載されました。 松葉 隆夫君
- 父が大変お世話になりました。故人同様変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

藤枝南RC 村松 章隆君

スマイル累計額 352,000円

■ 外部卓話

航空自衛隊

第11飛行教育団

司令兼静浜基地

司令1等空佐

浮須 一郎氏



我が国を取り巻く安全保障環境は、「新防衛大綱」に示されるとおり、従来からの領土問題などに加えて、弾道ミサイルやテロなどの脅威が顕在化しています。一方で、国家間の相互依存関係の進展から、安定した国際環境が各国の国益にとって重要なものとなり、テロ対策や麻薬密輸防止などにおける国際協力への積極的な取り組みが求められています。

本日は、このような情勢を踏まえて、「安全保障環境と防衛策」に関して、「米国の世界戦略と

関係国の動向」、「新防衛大綱と新たな自衛隊の体制」及び「防衛省改革」について概説させていただきます。また、市町において、策定された国民保護関連条例に関係する「国民保護法制」における自衛隊の活動についても付言したいと思います。

地域の皆様一人ひとりが、「自らが自分の命を守り、家族や地域の安全を確保するために協力する」という意思をもち活動することが、国を守るために重要であるということをご理解いただければ幸に存じます。

「防衛省改革会議」報告では、不祥事案の分析・検討を踏まえ、「改革の原則」として、①規則遵守の徹底、②プロフェッショナリズムの確立、③全体最適を目指した任務遂行優先型の業務運営の確立を掲げ、併せて、安全保障・危機管理に関わる官邸及び防衛省の「司令塔機能強化のための施策」について具体化しています。



静浜基地は、今後とも、安全と規律を維持し精強な操縦者の育成に邁進するとともに、災害派遣の活動拠点としての態勢充実に努めてまいります。また、基地見学や体験入隊などを通じて、皆様のご理解を深めていただく努力も継続していく所存です。引き続き、静浜基地に対するご理解ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

(担当/森下)